

インフルエンザ予防接種 保護者同意説明書【小児助成用】

～ 13歳～ 15歳の方で接種当日に保護者が同伴しない場合～

13歳～15歳の方が接種をする場合は同伴をしなくても接種を受けることができます。同意にあたっては、以下の注意事項を十分理解したうえで接種することをお決めください。なお、保護者が当日に同伴する場合、本同意書は不要です。

1 感染症の性質

インフルエンザは、「インフルエンザウイルス」に感染して起きます。38 以上の発熱、頭痛や関節・筋肉痛など全身倦怠感等の症状が急に現れ、高齢の方や種々の慢性疾患がある方は肺炎を伴うなど重症化することがあります。

2 ワクチンの有効性

現在国内で使われている不活化のインフルエンザワクチンは、感染を完全に阻止する効果はありませんが、発病を一定程度予防すること、発病後の重症化の予防などに効果があるとされています。特に、65歳以上の高齢者では、34～55%の発病を阻止し、82%の死亡を阻止する効果があると報告されています。

なお、日本では、インフルエンザは例年12月～4月頃に流行し、例年1月末から3月上旬に流行のピークを迎えますので、12月中旬までにワクチン接種を終えることが望ましいと考えられます。

3 予防接種の副反応と注意点

この説明書に書かれた内容をよく読んで、必要性や副反応についてよく理解してください。気にかかることや分からないことがありましたら、予防接種を受ける前に主治医におたずねください。十分に納得できない場合には接種を受けないでください。

- (1) 予防接種を受けることができない人
 - ・ 明らかに発熱のある人(37.5 以上)
 - ・ 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな人
 - ・ 今回受ける予防接種によって、または予防接種に含まれる成分で、アナフィラキシー(接種後約30分以内に起こるひどいアレルギー反応)を起こした人
 - ・ その他、医師が不適当な状態と判断した場合
- (2) 主治医とよく相談する必要がある人
 - ・ 心臓病、腎臓病、肝臓病や血液、その他慢性の病気で治療を受けている人
 - ・ 以前各ワクチンの予防接種を受けたとき、2日以内に発熱、発疹、じんましんなどアレルギーと思われる異常がみられた人
 - ・ 今までにけいれんを起こしたことがある人
 - ・ 今までに中耳炎や肺炎などにかかり、免疫状態を検査して異常を指摘されたことのある人
 - ・ 予防接種の成分又は鶏卵、鶏肉、その他の鶏由来のものに対して、アレルギーがあるといわれたことがある人
- (3) 接種後の注意
 - ・ 接種後30分間は、急な副反応が起こることがあります。主治医や医療機関とすぐに連絡がとれるようにしておきましょう。
 - ・ 接種部位の痛み、倦怠感、発熱、頭痛等が生じることがあります。
 - ・ 接種部位を清潔に保ちましょう。接種当日の入浴は差し支えありませんが、注射をした部位を強くこすることはやめましょう。
 - ・ 接種当日はいつも通りの生活をしてかまいませんが、激しい運動や大量の 飲酒は避けましょう。
 - ・ 帰宅後または接種数日後に異常が認められた場合は速やかに主治医に連絡してください。

同意書

インフルエンザ予防接種を受けるにあたって注意事項の説明を読み、十分に理解したうえで、子どもが接種を受けることに同意します。また、予診上の質問事項の回答は、当日の状態と相違ありません。

お子さま氏名

保護者氏名

住所

緊急連絡先

記入日： 年 月 日